



江戸時代初めの元和9(1623)年、横川の地に碓氷関所が設置されてから令和5(2023)年はちょうど400年にあたります。この節目を祝い、さらに関所を支えてきた周辺地域を盛り上げるため、さまざまなイベントが開かれました。かつて関所の敷地内にあった神社の祭日＝旧暦の9月15日にあたる10月29日には、横川の市街地で第60回関所まつりも行われ、多くの人でにぎわいました。今回は、イベントの内容とともに、碓氷関所400年の歴史を紹介します。

碓氷関所のおもなできごと

- | | |
|------------|---|
| 天正18(1590) | 箕輪城主、井伊直政が碓氷峠に關所を設置する |
| 文禄 1(1592) | 徳川家康の家臣、伊奈忠次とおおくぼ ちょうあんが横川に關所を移す |
| 慶長19(1614) | 初代安中藩主、井伊直勝が幕府の命令で横川の關長原に仮番所を置く |
| 元和 9(1623) | 關長原の關所を現在の場所に移す。坂本の堂峰 <small>どうみね</small> に遠見番所(＝出先機関)を置く |
| 寛永 2(1625) | 關所の通行規則が定まる |
| 寛永12(1635) | 参勤交代が義務づけられる |
| 元禄 6(1693) | 安中城下から勤務していた關所役人が常駐となる |
| 宝永 5(1708) | 正式名称が「碓氷関所」となる。 |
| 安政 2(1855) | 安中藩主、板倉勝明 <small>かつあきら</small> が藩士を安中城から碓氷峠まで走らせる(安政遠足) |
| 明治 2(1869) | 碓氷関所が廃止され、自由に通行できるようになる |
| 昭和30(1955) | 碓氷関所跡が県史跡に指定される |
| 昭和34(1959) | 保存されていた部材をもとに、関門が復元される |
| 昭和36(1961) | 関門の隣に關所史料館が建てられる |
| 令和 5(2023) | 碓氷関所設置400年記念イベント開催 |

碓氷関所東門

復元当時、東側から上がる階段がなかったため、あえて西門の向き(西側が入口)に建てられたといわれます。